



# 村小だより

平成30年11月14日発行

## 文化祭大盛況！ 秋晴れとご支援に感謝して

校長 鈴木 正美

11月3日、朝日連峰の雪化粧が映える秋晴れの下、恒例の村小文化祭が開催されました。大勢の皆様からご来校いただき、子どもたちの作品鑑賞はもちろん、PTAやおやじの会主催のイベントやミュージックコンサートへも参加くださり、おかげでどの会場も大盛況となりました。ありがとうございました。4年生が揚げてくれた鮭のぼりも、嬉しそうに泳いでいました。

今年も、昨年同様、三世代(子、親、祖父母)でお越しのご家族が多いなあと感じました。ご家族で作品や活動を参観して回り、子どもたちから、作品づくりの苦労話を聞いたり、労いや褒め言葉を掛けてくださったりする様子を垣間見て、とてもうれしい気持ちになりました。

それは、学校でも、「子どもたちは、称賛や励ましをエネルギーにして自分の力を高めています。」と考えていますし、学校評議員の皆様からも、「村小の子は素直なので、できたことを褒めて伸ばして行ってほしい。」と、ご指摘をいただいているところです。

文化祭の開催にあたり、多くの皆様からご協力、ご支援を賜りました。感謝申し上げます。

### <11月3日全校朝会での校長講話(抜粋)>

(前略) 今日、村上小学校の文化祭です。毎年この日は、みなさんが心を込めて作り上げた絵や版画、工作などの作品やミュージックコンサートを家族や地域のみなさんから見てもらっています。また、お父さん、お母さん方が美味しいものを販売したり、みんなが楽しめる催しを行ったりしてくれます。楽しみですね。

昨日の夕方、各教室を回ってみなさんの作品を見せてもらいました。みなさんが工夫したり、苦労したりして、立派に作り上げた作品を見て、一人一人の思いや気持ちが伝わってきました。ここでもみなさんの「本気」がたくさん感じられて、とてもうれしくなりました。世界で一つしかない作品づくり、よくがんばりましたね。この後、学級ごとに回って、友達の作品をよく見て、互いがんばったところやよいところを教え合ってください。また、お家の人と回ったら、がんばったことや上手にできたところ、失敗したことなど、たくさん教えてあげてください。きっと喜んで聞いてくれると思います。

話は変わりますが、この秋、村上小学校はとてすごい褒めをいただくことになりました。「博報賞」という、受賞するのがとても難しいとされている賞です。今年で全国で17の団体に贈られます。新潟県では、村上小学校1校が選ばれました。そして、その中で特に素晴らしい4団体には「文部科学大臣賞」も贈られることとなり、その一つに村上小学校が選ばれたのです。とても嬉しいことですね。

でも、どうして村上小学校にこんなすごい賞をくださったのでしょうか。

村上小学校では、1、2年生の生活科で、お城山や六斎市での活動、町探検などの勉強をします。その後、3、4年生の総合の時間で、地域の人たちが昔から大切にしてきた村上の自然や歴史・文化(お祭り、お茶、鮭、堆朱など)を、お家や地域のみなさんから協力してもらいながら学んでいますよね。そして、5、6年生の総合の時間で、地域の役に立つ(地域貢献)活動やふるさと村上の未来を考え発信する活動に取り組んでいますよね。

この「お家や地域のみなさんと一緒になって、ふるさとを思う気持ちを大切に、将来の夢や希望について考える学習」が、これからの学校の良いお手本となる素晴らしい取組だと認められたのです。

ミニ村上大祭、鮭などの学習も始まっています。村小っ子として、自信をもって活動していきましょう。

